

2019年度 シラバス

教科	芸術	科目	音楽	学年	3
				コース等	スポーツ
	使用教科書	『改訂版 高校生の音楽2』音楽之友社		履修単位数	2
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育む。 ・感性を高め、音楽文化についての理解を深める。 ・個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばす。 			評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとに実技や筆記の確認テストを行う。 ・ノート提出や授業での練習への姿勢を総合的に判断し、評価する。
授業計画					
月	単元・教材	学習内容			
4	・器楽(ギター)	<ul style="list-style-type: none"> ・「音楽Ⅰ」で習得した技術を発展させ、より高度な技術を身につける。 ・コードの数を増やし、1曲を完成させる。 			
5	・鑑賞(西洋音楽)	<ul style="list-style-type: none"> ・ロマン派後半～近・現代の作曲家を取り上げる。 			
6	・歌唱	<ul style="list-style-type: none"> ・コンドルは飛んでいく ・おお シャンゼリゼ 			
7	・鑑賞(西洋音楽)	<ul style="list-style-type: none"> ・近・現代の作曲家を取り上げる。 			
9	・効果音	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊効果を使った映像がどのように作られているかを研究する。 ・日常にある音などを映像に組み合わせる 			
9	・器楽(ミュージックベル)	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な奏法やリズムの特徴を捉え、美しいアンサンブルで表現する。 			
10	・器楽(ヴァイオリン)	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器や楽曲の特性を生かし表現を工夫する。 ・奏法に工夫をしながら、「カエルのうた」で輪唱で演奏をする。 			
11	・オペラ鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・オペラ「トゥーランドット」鑑賞して、時代背景や登場人物の感情など音楽の表現がどのように関わっているか学ぶ。 			
12	・合奏	<ul style="list-style-type: none"> ・グループでギターやキーボードを使い合奏する。 ・グループごと曲を決定し、発表する。 			
1					
2					
3					
副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとに自作の資料を配付する。 				

2019年度 シラバス

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	学年	3
				コース等	スポーツ
	使用教科書		『美術Ⅱ』光村図書	履修単位数	2
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・美術の幅広い活動を通し、美的体験を豊かにする。 ・生涯にわたり、美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高める。 ・創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。 			評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の完成作品を中心に評価を行う。また、関心・意欲・態度・技術・技能・創意工夫・知識・理解・鑑賞の能力について評価する。
授業計画					
月	単元・教材	学習内容			
4	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・プロダクトデザイン 	<ul style="list-style-type: none"> ・「高校美術Ⅱ」の特性と目標を理解し、作品制作や鑑賞に活かす。 ・社会において美術が持つ役割と意義を理解し、生涯において美術を愛好する姿勢を学ぶ。 ・プロダクトデザインの役割を理解し実生活で使用する時計のデザインを考案する。 ・材料と用具の特性を理解し、オリジナルデザインを制作する。 ・作品のコンセプトを明確にする方法を学び、アイデアスケッチをする。 			
5					
6		<ul style="list-style-type: none"> ・オリジナルのアイデアをデザイン画に描き起こす方法を学び制作する。 ・デザイン画を更に、実寸サイズに描きだしトレースの方法を学び、彩色する。 ・材料の板にデザイン画を転写する。 ・用途に応じて、電動糸鋸、彫刻刀などで形を形成する方法を学び制作する。 ・彩色、ニス塗装、針をセットし完成する。 ・各自、作品をプレゼンテーションし、互いの作品の良さを鑑賞する。 ・完成品を実用する良さ、生活における美術品の意義を学ぶ。 			
7					
9					
9	<ul style="list-style-type: none"> ・日本画(静物) 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本画の歴史について学ぶ。 ・日本画の画材の特性について学ぶ。 ・モチーフの観察方法について学び、制作する。 ・下絵制作について、その方法を学び、制作する。 ・下描きとトレースの方法を学び、制作する。 ・細部と全体について比較する方法と見方を学び、制作する。 			
10					
11					
12		<ul style="list-style-type: none"> ・金箔の使い方を学び、制作する。 ・互いの作品の良さを鑑賞を通して理解する。 			
1					
2					
3					
副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・『美術 表現と技法』日本文教出版社 				

2019年度 シラバス

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	学年	3
				コース等	スポーツ
	使用教科書		『書Ⅱ』 光村図書	履修単位数	2
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字(篆書・隸書・草書)や仮名の造形を知り、特徴に合わせた書き分けが出来るようになる。 ・書道の関連分野(日本文学・中国文学など)に関心を持てるようになる。 			評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・单元ごとに課題を提出し、各提出作品と授業の受講姿勢などを総合的に評価する。
授 業 計 画					
月	単元・教材	学 習 内 容			
4	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の書の学習 ・篆書の古典 	<ul style="list-style-type: none"> ・篆書の基本用筆 ・甲骨文 ・金文 ・大篆、小篆 ・隸書の基本用筆 ・木簡 			
5					
《第1回定期試験》					
6	<ul style="list-style-type: none"> ・草書の古典 ・行書の古典 	<ul style="list-style-type: none"> ・乙瑛碑 ・曹全碑 ・十七帖 ・書譜 ・集王聖教序 ・温泉銘 ・顔真卿三稿 			
7					
9					
《第2回定期試験》					
9	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中の書 ・実用書の書き方 ・刻字 	<ul style="list-style-type: none"> ・封筒、はがき、便箋の書式 ・贈答用語の書き方 ・刻字 			
10					
11					
《第3回定期試験》					
12	折帖	<ul style="list-style-type: none"> ・折帖 ・各古典の臨書による基本的な点画や線質の表現、用筆、運筆法 			
1					
2					
《第4回定期試験》					
3					
副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・单元ごとに関連資料を配付する。 				